

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館夜間・祝日開館事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	07	02
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	夜間・祝日に図書館を利用したい市民	意図	夜間や祝日も図書館が利用できる環境を整備する。
事業内容	流山市立図書館管理規則に基づき、中央図書館・森の図書館・木の図書館・南流山分館の4館では午後8時（試行により12月から4月まで午後7時）まで夜間開館を実施する。また祝日開館は全館で実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成16年3月及び6月の図書館協議会の協議を踏まえ、10月1日から市民の生涯学習機会を拡充するために開始した。夜間開館（火～土、20時まで）については中央・森の図書館・南流山分館が実施し、平成24年度から木の図書館が加わった。なお、試行により平成25年度から利用の少ない12月から4月まで開館時間を1時間短縮している。祝日開館については、全館で17時まで開館している			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	夜間開館日数	237				237
②	夜間利用者数	34,779	33,602	33,119	人	→→		
③	夜間貸出数	117,915	114,364	114,743	冊	↗↗		
④	祝日開館日数	14	15	15	日	↗↗	日数が違うため開館日の多い館の日数	
⑤	祝日利用者数	15,237	15,529	16,169	人	↗↗		
⑥	祝日貸出数	55,023	55,771	58,698	冊	↗↗		
指標で表すことができない定性的な成果	平成27年度は森の図書館ESCO事業工事の影響で、夜間利用が減少となった。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	祝日開館は、需要が大きく利用者も増加している。 夜間開館は、貸し出し利用が下降しており、閲覧席の利用も横ばいである。				
事務事業の総コスト(a=b+c)	12,799,574	12,942,169	13,297,649					
事業費(b)(円)	4,470,044	4,106,569	3,935,899					
うち一般財源	4,470,044	4,106,569	3,935,899					
職員給与費(c)(円)	8,329,530	8,835,600	9,417,250					
人役・職員(人)	0.70	0.70	0.70					
人役・再任用(人)	0.07	0.10	0.15					
人役・臨職(人)	2.50	2.50	3.00					
初期投資コスト(円)	(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)	(建設又は取得年度のみ記入)							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	引き続き、夏休期間中の月曜開館及び夜間開館の冬季1時間短縮を試行で実施する。	③取組の課題	19時から20時の時間帯は利用者数が少ない。試行事業の検証が必要である。
②今年度(H28)に実施した取組	夜間開館の冬季1時間短縮・夏休み期間中の月曜日及び8月31日、12月28日の月末館内整理日を開館した。	④今後の改善計画	平成29年度で、試行が終了するため、費用対効果を検証の上、開館時間の見直しを検討する。